

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 COSPAR 小委員会(第 24 期・第 2 回)
議事録

日 時 平成 30 年 7 月 11 日(水)16:00～17:00

会 場 国立極地研究所・所長室 (※を中心会場とする Zoom による遠隔会議。
(※〒190-8518 立川市緑町10-3)

出席者:笠井、河合、佐々木、高橋、東覚、中島、中村、藤井、藤本、山岸、山崎、山田、吉田、和田

欠席者:新井、常田、矢野

0. 議事に先立ち、前回議事録(資料1)を確認した。

1. 経過報告

(1) COSPAR 会長選挙

資料2に基づき、7月6日に締め切られた会長選挙の郵送投票の状況が報告された。前日本代表である佐々木委員が投票を行った。日本は、理事ポストの空きが増えることを優先した投票を行った旨報告され、これを承認した。結果は代表者会議(22日)で公表される模様。

(2) ISAS 國中所長の訪問

資料2に基づき、4月26日に、中村委員長と佐々木幹事が ISAS 國中新所長を訪問し、東覚委員も交えて、COSPAR の現状や今後の対応について意見交換を行った。ISAS への理解、協力の依頼に対し、國中所長からは ISAS にとって COSPAR の PPP との関係は重要であり、役員輩出や総会の招致を含め COSPAR に積極的にしかかわる意向であるとの発言があった。

(3) COSPAR ビジネスミーティング(3月19-21日)の報告

3月に開催された総会プログラム委員会、シンポジウムプログラム委員会、科学諮問委員会、理事会の報告が中村・佐々木両委員から口頭で報告があった。とくに特筆すべき重要事項はないとのことであった。なお、2019年のシンポジウムについてはテルアビブ(イスラエル)で開催することが決まった。又、事務局長については J.L. Fellou 氏から B. Foing(ファン)氏に2019年末に交代する見込みであることが佐々木・東覚委員から情報提供があった。

2. 第 42 回 COSPAR 総会・代表者会議について

(1) 総会の状況

資料3に基づき、アブストラクト投稿数や会議日程などの報告があった。

(2) 代表者会議(Council)の状況

資料3および別紙1, 2に基づき、報告があった。代表者会議1日目(14日)には、2022年総会についてアテネ、ワルシャワ、ローザンヌ、プラハの4つの候補地のプレゼンが行われる。投票は22日である。代表者会議2日目(22日)は、上述の総会開催地の投

票の他、役員選挙の投票があり、日本の藤本委員がノミネートされている理事(Bureau members)の投票も行われる。7名あるいは8名の中から6名の理事を選ぶ投票となる。投票の有権者リスト(各国代表、ユニオン等代表、コミッションの長)については会議後小委員会委員あてに送付することとし、可能な委員で得票のための働きかけを行うことを確認した。

なお、14日のアジェンダに2024年の総会招致の表明という項目がある。大々的に日本の立候補を表明する場所ではないと思われるが、状況によっては藤本委員が発言することもあり得ることを確認した。

3. 新たな顕彰の提案について

新井委員より本議題の提案があったが、ご本人の依頼により次回の議題とする。

4. その他

次回の会議は、COSPAR 総会后、なるべく早い時期に実施することとする。

以上